

## 3 東淀川区 事後ヒアリングより

**ヒアリング対象：**民間スポーツ会社（水泳）、総合型地域スポーツクラブ（サッカー）

### ① 学校部活動との関係：

- ✓ 水泳部は冬季は学校プールが使用できない。民間の温水プールを利用することで冬季でも水泳が実施できるいい機会になった。（水泳）
- ✓ 複数校との日程調整は大変。学校単位でなく個人参加型であれば、小学生で実践しており、実現は容易。（サッカー）
- ✓ すでに顧問や部活動指導員による活動が十分に成立しているところに民間からコーチを派遣するよりも、現在活動が十分にできていない部分にスポットをあて、生徒たちの活動の幅を広げる方がいいのではないかと感じた。（サッカー）

### ② 利用施設との関係：

- ✓ 民間の施設を利用する場合、営業に支障ない時間帯（休業日、早朝などの空き時間）から始めるのがスムーズ。（水泳）

### ③ 指導者の確保：

- ✓ 水泳部の生徒のレベル差が想像以上だった。円滑に指導するにはスタッフの確保や継続した指導が必要と感じた。（水泳）

### ④ 受け皿、事業収益性の確保：

- ✓ 総論としては賛成であるが、行政の補助なく運営自体を丸投げされるとうまくいかない。（サッカー）
- ✓ コーチの指導費は最低でも時給5,000円。イベント的な活動か継続的な指導なのかによっても金額は変わる。平日・休日1日ずつ専門的な指導、その他の日は補助員が見守りつつ個人で練習するなど工夫次第ではないか。（サッカー）
- ✓ 水泳や体操など個人活動種目であれば、民間事業者の所有する施設や指導者の活用の観点からも十分価値がある。体操の導入部分だけであれば指導者を学校の体育館に派遣し指導することは可能。（水泳 当該民間事業者は体操教室も併設）
- ✓ 水泳では一人1回あたり1,000～1,500円、または月6,000円の会費。送迎バス等は生徒数によって手配できる。（水泳）